

実践例8 「おっぱい都市宣言」：子育て支援としてふれあいを大切にする 子育て（おっぱい育児）の推進

「おっぱい都市宣言」でふれあい子育ての推進

おっぱい都市宣言は、おっぱいを通してふれあい子育ての推進により、心豊かでたくましい光っ子を育ていくことをねらいとしたものである。

このおっぱい都市宣言の趣旨を母子保健施策の柱にして、おっぱい育児を推進している。

母と子と父そして人にやさしいまち♡光 おっぱい育児10か条

- 1 子どもをおっぱい(胸)でしっかり抱き、愛しましょう
- 2 おっぱいのあたたかさを伝えましょう
- 3 子どもとしっかりと見つめ合いましょう
- 4 子どもとしっかりと語り合いましょう
- 5 おっぱい(胸)のあたたかさで、子どもの心を育みましょう
- 6 心豊かで健やかな“光っ子”を育てましょう
- 7 ふれあいの子育てを楽しみましょう
- 8 困った時は、“SOS”を出しましょう
- 9 家族みんなで協力しましょう
- 10 「子育ての輪」を地域に広げましょう

“優・You・おっぱい育児”応援隊

おっぱい都市宣言

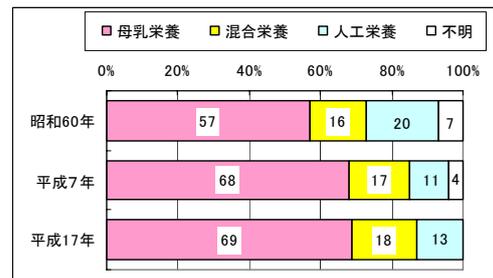
1. 私たちは、おっぱいをおして“母と子と父そして人にやさしいまち光”をつくります。
2. 私たちは、おっぱいという胸のぬくもりの中で、子どもをしっかりと抱(いだ)き、愛(いつく)しみ、心豊かで健やかな輝く光っ子を育てます。
3. 私たちは、すべての母親のおっぱいが、より豊かに赤ちゃんに与えられるよう皆で手助けをします。
4. 私たちは、おっぱいを尊び、偉大なる母を皆で守ります。

「おっぱい」何と温かく、優しい言葉でしょう。「おっぱい」をおした母と子の穏やかなふれあいは、真に生きる力を持つ、心豊かでたくましい若者を育ててくれることでしよう。

そして、この若者たちが“母と子と父そして人にやさしいまち光”で子育てを楽しみながら、このまちに住み、まちとともに輝くことを夢みて、ここ光市を「おっぱい都市」とすることを宣言いたします。

平成17年6月30日 光市

3か月健康診査時の栄養方法の年次推移



注) 昭和60年、平成7年は旧光市の統計

おっぱい育児の推進

おっぱい育児とは、母乳が出る出ないにかかわらず、子どもを胸（おっぱい）でしっかり抱きしめ、見つめ合い、語りかけ、豊かな心をもって子育てすること。母乳育児推進はその手段のひとつである。

〈おっぱい育児支援の具体的活動例〉

- (1) おっぱい育児と母乳育児手引き書「おっぱい冊子」を妊娠7か月の全妊婦に配布(母子保健推進員の訪問により配布)
- (2) 母親教室でおっぱい育児の趣旨を中心とした講義を実施
- (3) 妊婦相談(定例相談は月1回、電話・メールや来所相談は平日随時)
- (4) おっぱい相談電話(子育て何でもテレフォン電話・74-1108 平日随時)
- (5) 保健師による妊産婦、新生児、乳幼児訪問
- (6) 母子保健推進員による妊産婦訪問、乳幼児訪問
妊娠中から乳幼児期にかけて1世帯あたり約10回以上の訪問活動を実施
- (7) 育児相談・1歳児お誕生相談(定例相談は月4回、電話・メールや来所相談は平日随時受付)
- (8) 市内医療機関との連携
- (9) 啓発活動(妊娠届出時「母と子のしおり」配布、おっぱい体操、おっぱいまつり開催)
「母と子のしおり」には光市の母子保健(妊娠中から乳幼児期)について必要な情報を掲載し、妊娠届出時に必ず保健師が手渡して詳しく説明

(提供：光市)